

ISOM'20 報告

ISOM は、1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている国際学会であり、2017 年からは、新しい領域への展開を反映して正式名称を International Symposium on Optical Memory (ISOM) から International Symposium on Image, Sensing, and Optical Memory (ISOM) に変更している。今回の ISOM'20 は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ISOM として初めて完全オンラインでの開催となった。また会期は例年よりも約 1 か月後ろにずらして 11 月 29 日 (日) ~12 月 2 日 (水) であった。とう弊協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷副理事長以下関係者が参加した。

ISOM における研究発表分野は、光メモリをはじめ、イメージング、センシングを含む幅広い領域を含んでおり、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

今回の ISOM'20 の参加者数は 101 名であり、完全オンライン開催にもかかわらずほぼ例年並みの参加者が集まった。また ISOM'20 の発表件数は例年とほぼ同じ 79 件であった。このうち招待講演 (Keynote、特別招待講演も含む) が 27 件、応募論文が 52 件 (ポストデッドラインペーパーを含む) で、日本からの他に、中国、香港、米国、イランからの発表もあった。今年はオンライン開催のためポスターセッションは無く、すべてオーラルセッションとなっており、最新の技術動向や最先端の研究成果について活発な討議が行われた。

Keynote として神戸大学の的場修教授による “Scanless three-dimensional fluorescence imaging techniques for bioapplications” と題する講演が行われ、また恒例となっている特別招待講演として京都先端科学大学の沖一雄教授による “Development of remote sensing methods in vegetation area” と題する講演が行われた。

ISOM'20 国別参加者数

日本	中国	米国	イラン	合計
95	3	2	1	101

ISOM'20 国別発表件数

日本	香港	中国	米国	イラン	合計
69	1	5	3	1	79

ISOM'20 分野別発表件数

Optical Memory	Imaging	Sensing	Other Related Technology	合計
14	6	30	29	79

今後も ISOM は、光メモリをはじめ、イメージング、センシングを含む幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。次回の ISOM'21 (https://isom.jp/PDF/ISOM21_First_Call_for_Papers.pdf) は、神戸市の神戸商工会議所において 2021 年 10 月 3 日 (日) ~10 月 6 日 (水) の会期で開催される予定である。



ISOM'20 オンライン会議参加者集合写真